2024 年度
事業報告書

一般財団法人 北陸経済研究所

2024 年度 事業報告

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

1. 事業活動の概要

北陸地区の経済は、令和6年能登半島地震により被災地域を中心に甚大な影響を受けましたが、震災復興需要や北陸新幹線敦賀延伸による経済効果、国内景気の回復、産業界での賃上げ実施などを背景に、2024年度の経済成長率は実質+2.1%（全国+0.3%）の改善が見込まれます（当研究所2024年11月末試算）。

一方で、賃上げを上回る物価上昇や、トランプ関税による極端な政策への転換も懸念され、国内外の経済は予断を許さない状況にあります。

当研究所では、これらが北陸の経済に与える影響や各産業の動向について、各種統計やヒアリング、アンケート調査などを通じて北陸経済の最新動向の把握に努めるとともに、急速に進展をみせているデジタル化や、ジョブ型・副業などの働き方の変化、生産年齢人口減少の克服に向けて重要なキーワードとなる「生産性の向上」、ESG・脱炭素などを調査研究の主要テーマとしてまいりました。

当研究所の働き方につきましても、各種業務のデジタル化や生産性の向上、テレワークを含めた柔軟な働き方の導入を推進しております。

以下、事業内容につきましてご報告いたします。

2. 研究所の体制

(1) 当研究所の職員数（出向者を含む・パートは除く）は、2025年3月末で13名となっております。

	2025年3月末	前年度末比
部 長	1名	0名
担 当 部 長	0名	▲ 1名
総 括 研 究 員	2名	+ 1名
主 任 研 究 員	6名	+ 1名
研 究 員	2名	+ 1名
事 務 局 員	2名	0名
合 計	13名	+ 2名

(2) ご後援いただいております賛助会員の2025年3月末の状況は次のとおりです。

	賛助会員数 (口数)	増減		賛助会員数 (口数)	増減
2014年度	2,697先 (3,224口)	+6 (+5)	2020年度	2,729先 (3,214口)	-54 (-66)
2015年度	2,731先 (3,248口)	+34 (+24)	2021年度	2,605先 (3,061口)	-124 (-153)
2016年度	2,767先 (3,283口)	+36 (+35)	2022年度	2,561先 (3,014口)	-44 (-47)
2017年度	2,787先 (3,296口)	+20 (+13)	2023年度	2,530先 (2,981口)	-31 (-33)
2018年度	2,810先 (3,312口)	+23 (+16)	2024年度	2,420先 (2,832口)	-110 (-149)
2019年度	2,783先 (3,280口)	-27 (-32)			

(参考) 購読会員は2025年3月末現在380先です。

(3) 基本財産は、一般財団法人への移行にあたり10百万円(大口定期預金)を設定しました(2012年3月29日開催の理事会、評議員会決議による)。以後変動はありません。

(4) 2024年度は、場所や時間にとらわれない多様な働き方を追求すると同時に、業務の効率化・生産性の向上を目指し、研究所内の業務のデジタル化に取り組んでまいりました。具体的には、クラウド校正ソフトやAI文字起こしツールを活用するとともに、ペーパーレス化、業務のマニュアル化、属人化の排除などにより、業務量の削減・自動化・効率化を図り、さらなる生産性向上と働きやすいオフィス環境の整備に努めております。

3. 調査研究事業

2024年度の自主調査研究においては、「北陸の経済見通し(推計)」、「北陸の産業天気図」、「経営者の景気見通し(BSI)」などの定例調査のほか、能登半島地震を教訓とする「機能するBCPの構築」、「北陸として取り組むべき地域力向上策」(地方シンクタンク協議会論文アワード特別賞受賞)、「やさしい生成AI」、さらに北陸新幹線敦賀開業をテーマにしたシリーズを掲載するなど、さまざまな分野にスポットをあてた調査を行いました。

また、海外の情報をお伝えする「海外便り」、各大学などの研究シーズを紹介する「産学連携」コーナー、金融教育の一環としての「金融リテラシー講座」、企業の悩み事とその解決策を示す「コンサルティング通信」を掲載しており、地元の歴史の再発見を促す「北陸歴史探訪」も好評を得ています。

さらに、新春対談として、国立研究法人産業技術総合研究所北陸モノづくりセンター所長芦田極氏との対談内容を「産総研の技術・研究力で切り拓く北陸のものづくりの未来」と題して掲載いたしました。

なお、調査・研究の具体的な内容は以下のとおりであります。

(1) 経済、産業、地域活性化に関する調査研究

掲載号	テーマ
5月号	北陸の産業天気図 CEATEC2023 でみた “やさしい” テクノロジー
6月号	再起動 北陸新幹線 第6回 福井県内4駅の延伸に向けた戦略と開業日レポート
7月号	再起動 北陸新幹線 第7回 石川県および富山県内の延伸・再延伸に向けた戦略と開業日レポート
8月号	2024年1～3月の北陸経済 ～令和6年能登半島地震と北陸新幹線敦賀延伸の影響をマクロ数値で概観する 北陸のBSI 経営者の景気見通し
9・10月号	北陸として取り組むべき地域力向上策 ～北陸経済連合会「北陸新幹線敦賀開業を契機とした北陸の地域力向上策の 提言」より～
11月号	北陸の産業天気図
12月号	機能するBCPを構築するには ～能登半島地震、奥能登豪雨の教訓を踏まえて～
1月号	2024年度・2025年度 北陸の経済見通し
2月号	北陸のBSI 経営者の景気見通し
3・4月号	やさしい生成AI ～ビジネスを変える新たな技術革新の基礎知識

(2) トップインタビュー／新社長インタビュー

掲載号	テーマ
7月号	医薬品容器製造を基盤にみなさまの健康基盤を担う企業をめざして・・・ 阪神グループ 代表 高田 健氏
11月号	「専門性」と「順応性」を高めて、地域企業の成長をワンストップで支援する存在に ほくほくコンサルティング株式会社 代表取締役社長 山口 新太郎氏
12月号	「間仕切りメーカー」から「間づくりカンパニー」へ コマニー株式会社 代表取締役執行役員 塚本 健太氏
2月号	世界に誇るキラーコンテンツ ～眠りから覚めた恐竜が福井を盛り上げる 福井県立恐竜博物館 館長 谷川 由美子氏
3・4月号	イノベーションのDNAを発揮し、グローバルに新時代を切り拓く 立山科学株式会社 代表取締役社長 水口 勝史氏

(3) 新春対談

掲載号	テーマ
1月号	産総研の技術・研究力で切り拓く北陸のものづくりの未来 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北陸デジタルものづくりセンター所長 芦田 極 氏

(4) 企業経営に関する調査研究

<チャレンジ>

掲載号	企業名/業種・テーマ
5月号	株式会社ウーケ（富山県入善町）/ 黒部の水と海洋深層水でパックごはんを全国・世界へ届ける
6月号	横井チョコレート株式会社（福井県福井市）/ 高品質でリーズナブルな福井発チョコレートブランド

<企業紹介>

掲載号	企業名
5月号	山田技研株式会社（福井市）/積雪・凍結センサー付き融雪システムの開発
6月号	株式会社オハラ（金沢市）/地元食材でゼリー・プリンなどデザートを供給
7月号	株式会社ゆめうらら（石川県志賀町）/休耕田での酒米造りで能登の復興に貢献
8月号	高岡交通株式会社（高岡市）/人手不足のなかで地域交通を守る
9・10月号	若松梱包運輸倉庫株式会社（白山市）/北陸の物流と食を支える
11月号	ヨシダ工業株式会社（鯖江市）/鍛造技術で眼鏡から楽器、医療機器まで
12月号	コムテックス株式会社（高岡市）/ITの力で建設業界を支える
1月号	輪島キリモト（輪島市）/地震・豪雨の二重被災を越えて新しい輪島塗に挑戦
2月号	株式会社ウノコーポレーション（越前市）/超硬切削工具とロボットの開発
3・4月号	株式会社BBS 金明（白山市）/シリコンウェーハエッジ研磨装置世界シェア 80%

(5) 受託調査

富山県をはじめとして各自治体、経済・産業の調査研究機関・団体などから次のとおり 8 件の調査を受託しました。

No.	受託先	事業名
1	内閣府（三菱UFJ リサーチ&コンサルティング）	景気ウォッチャー調査に伴う作業・分析業務（北陸地域）
2	富山県	令和6年度男女間における暴力に関する調査
3	北陸経済連合会	「第5次中期アクションプラン」の実施に係る助言、データベース「データで見る北陸」の更新・掲載
4	北陸経済連合会	シェアトップ150リニューアル
5	富山県	文化庁「文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業）」による補助を受けて行う事業の実施に伴う経済波及効果分析調査
6	南砺市	南砺市文化芸術創造拠点形成事業に伴う経済波及効果分析調査
7	富山県立大学	大学院情報工学研究科（仮称）設置に関する企業ニーズ調査業務
8	富山県	令和6年度職業能力開発ニーズ調査業務

(6) P I F（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）評価業務

No.	受託先
1	株式会社鳥羽
2	株式会社島田商店
3	株式会社ナカテック
4	一位物産株式会社
5	富士化学工業株式会社
6	株式会社アプレ
7	奥多摩工業株式会社
8	株式会社 AlbaLink

4. コンサルティング・講師派遣・研修業務など

(1) コンサルティング

「経営相談」には日常的に対応し、主な実績は 5 件となりました。経済動向、業界動向などについて、担当職員が対応しました。

(2) 講師派遣

A. 講演講師派遣

賛助会員企業や団体、地方公共団体、銀行の支店・取引先親睦会などから、講演会への講師派遣依頼があり、役職員が積極的に出向きました。

講演の主なテーマは、北陸の経済見通しや人手不足、北陸新幹線敦賀延伸などがあり、講師派遣回数は 11 回となりました。

B. 研修講師派遣

富山県立大学の講義において非常勤講師などの派遣依頼を受け、合計 14 回にわたり講師を務めました。

(3) 新春講演会の開催

開催日	演題	講師	参加者数
2月26日	北陸の歴史から 現代の経営戦略を学ぶ	歴史作家 河合 敦 氏	約 110 名

(4) 北経研セミナーの開催 52回 1,266名 (オンライン受講率 32.7%)

- ・2024 年度は新入社員研修と金沢会場を除いた大部分のセミナーを会場とオンライン LIVE 併用のハイブリッドで開催しました。
- ・新講座として 16 講座を開催するなど、ニーズに合ったテーマに入れ替えを行うとともに講座を厳選し、52 講座を開講しました (前年度比▲18.8%)。
- ・全受講者数は前年度比 3.6%減少しましたが、1 講座当たりの平均受講者数は 18.6%増加しました。
- ・オンライン受講率は前年度比 5.7 ポイント低下しましたが、依然として需要があり、30%台となっています。

(受講者数；人)

No.	開催日	タイトル	開催地	形式	受講者数
1	4月2・3日	新入社員研修(2日間コース)	富山	会場	56
2	4月4・5日	新入社員研修(2日間コース)	金沢	会場	40
3	4月8・9日	新入社員研修(2日間コース)	福井	会場	19
4	4月17日	製造業新入・若手社員向け「ものづくり」基本研修	富山	ハイブリッド	23
5	4月18日	管理職のためのレベルアップセミナー	富山	ハイブリッド	22
6	5月21日	中堅女性社員のためのスキルアップセミナー	富山	ハイブリッド	25
7	5月22日	「ロジカル・シンキング」超入門講座	富山	ハイブリッド	33
8	5月27日	簿記と経理の基礎実務	富山	ハイブリッド	16
9	5月29日	管理職・リーダーのための「報・連・相」徹底セミナー	金沢	会場	15
10	6月6日	総務担当者の基本業務と上手な仕事の取り組み方講座	富山	ハイブリッド	23
11	6月11日	管理職の基礎・基本	金沢	会場	24
12	6月12日	中堅社員に求められる役割とスキル	金沢	会場	35
13	6月20日	相手を気づかう ビジネスコミュニケーション研修	WEB	オンライン	14
14	6月26日	最強の部下とチームを育成する管理職の仕事術	富山	ハイブリッド	35
15	7月4日	交渉のプロが教える 丸くおさめる交渉術	金沢	会場	11
16	7月10日	新入・若手・中堅社員のための「報・連・相」徹底セミナー	金沢	会場	26
17	7月18日	女性社員キャリアデザインセミナー	福井	ハイブリッド	12
18	7月23日	課題解決力向上セミナー	富山	ハイブリッド	47
19	7月25日	強い会社を創る経営幹部養成講座	富山	ハイブリッド	10
20	8月2日	管理職のあり方を学ぶ 新任管理職研修	富山	ハイブリッド	27
21	8月7日	班長研修 部下指導力、コミュニケーション力を強化し、実力と魅力のあるリーダーになる	延期		
22	8月22日	職場とメンバーが「大好き」になる風土づくり	富山	ハイブリッド	19
23	8月27日	1日ですっかり理解する「労働基準法の基礎知識」	WEB	オンライン	17
24	9月2日	新入・若手社員フォローアップ研修	富山	会場	33
25	9月3日	新入・若手社員フォローアップ研修	金沢	会場	22
26	9月4日	管理職のための部下育成力強化研修	金沢	会場	18
27	9月5日	新入・若手社員フォローアップ研修	福井	会場	10
28	9月11日	チーム・業務の「見える化」セミナー	富山	ハイブリッド	50
29	9月13日	補助金セミナー&フリートーキング	富山	会場	37
30	9月27日	決算書の読みこなし方と経営分析の基本	富山	ハイブリッド	20
31	10月2日	女性社員に必須の「4つの仕事力」向上セミナー	富山	ハイブリッド	34
32	10月3日	管理職・リーダーに必要な「4つの仕事力」セミナー	富山	ハイブリッド	50
33	10月10日	中堅社員スキルアップ講座	富山	ハイブリッド	32

34	10月11日	自社に合った教育体系設計の考え方と運用法セミナー（半日セミナー）	延期		
35	10月16日	理想のリーダー像を目指す キャプテンシー研修	富山	ハイブリッド	13
36	10月22日	年末調整の基礎実務（半日セミナー）	WEB	オンライン	20
37	10月30日	納得して体得する「プロのビジネスパーソン」6つの基本行動	金沢	会場	21
38	11月6日	リーダーに期待したい部下育成「令和の人材育成術」	福井	ハイブリッド	23
39	11月15日	問題解決型提案営業スキルアップセミナー	富山	ハイブリッド	13
40	11月20日	社会人に求められる「3つの力」養成講座	富山	ハイブリッド	26
41	11月26日	部下育成指導力向上セミナー	金沢	会場	22
42	12月5日	甘えを捨てよう！ 中堅社員	金沢	会場	27
43	12月6日	班長研修 部下指導力、コミュニケーション力を強化し、実力と魅力のあるリーダーになる	金沢	会場	15
44	12月10日	管理職に必要なマネジメント能力強化研修	富山	ハイブリッド	32
45	12月11日	女性リーダーキャリアアップセミナー	富山	ハイブリッド	26
46	1月24日	経理の重要業務と会計・税務の実務処理	富山	ハイブリッド	12
47	1月28日	北陸版 BCP セミナー（入門編）	富山	ハイブリッド	58
48	2月5日	プレゼン資料作成の基本とパワーポイントスキルアップ技法を学ぶ	WEB	オンライン	9
49	2月7日	自社に合った教育体系設計の考え方と運用法セミナー（半日セミナー）	WEB	オンライン	10
50	2月19日	経営幹部の役割と知っておくべき法律知識	WEB	オンライン	16
51	3月5日	新入社員指導担当者・先輩社員のための OJT・メンター研修	富山	ハイブリッド	29
52	3月6日	お客様の心をつかむ「営業の雑談力・質問力」セミナー	富山	ハイブリッド	10
53	3月12日	プレイングマネージャーとしての部長・課長の役割と仕事術	富山	ハイブリッド	20
54	3月19日	心を動かす話し方とプレゼンテーション	金沢	会場	9
	計				1,266

（上記のうち、会場 18、オンライン Live 6、ハイブリッド 28、中止 0、延期 2）

（5）オーダーメイド研修（企業内研修）の受託状況

- ・伴走支援型リーダー・管理職研修や年代別キャリアデザイン研修など、複数回開催型研修を受託しました。
- ・ロジカル・シンキング研修、モチベーションアップ研修、若手ステージアップ研修など、企業ニーズにも積極的に対応しました。
- ・2024年度の開催件数は4社・7件・24回にのぼり、前年度比1割強の増収となりました。
- ・セミナーパックプラン（年間受講コマ数契約）を受託しました。
 - 契約企業数 3社
 - 契約コマ数合計 146コマ
 - 契約額合計 2.6百万円

(6) IoT 活用推進に向けての取り組み

～「IoT 活用推進フォーラム」の活動について

① 概要

2017 年 5 月に当研究所を事務局として、IoT に関する手法や先進企業の取組みなどを習得し、実証実験を実施することを目的とする「IoT 活用推進フォーラム」を設立しました。

② 会員数 北陸三県企業 21 社（富山県 18 社、石川県 2 社、福井県 1 社）

正会員 18 社

サポート会員 1 社

賛助会員 2 社

③ 活動報告

A. 2024 年度総会開催

開催日 2024 年 6 月 19 日（水）

参加企業 8 社 14 名

B. セミナー開催実績

開催日	内容	テーマと講師	参加者
6 月 19 日 （水）	第 1 回 IoT 活用セミナー	<p>総会</p> <p>【第一部】IVI(Industrial Value Chain Initiative)のみるモノづくりの将来と課題 ～IoT 活用推進フォーラムの立ち上がりから今後を展望する～ IVI 教育普及委員長/CKD 株式会社デジタル戦略部 上岡洋介氏</p> <p>【第二部】IoT 活用推進フォーラムでの歩み ～フォーラムでの学び、工場見学会、そしてこれから～ 株式会社リッチェル 生産本部 製造部 生産革新グループ 係長 水野皓一郎氏</p> <p>【第三部】質疑・応答 座談会 ～モノづくりの基本、DX(デジタル・トランスフォーメーション) にむけての課題など～ ファシリテーター：IVI 教育普及委員長/CKD 株式会社 デジタル戦略部 上岡洋介氏</p>	8 社 14 名
11 月 12 日(火)	第 2 回 IoT 活用セミナー	<p>ファインネクス株式会社「工場見学会」</p> <p>【第一部】モノづくりへの取り組みと先端技術の導入 ～製造(製品)概要、基幹システム SAP・AMR(自律走行搬送ロボット)導入から現在まで～</p> <p>【第二部】工場見学会 ～工場内を自律走行するロボットを自分の目で…～</p>	6 社 12 名

		【第三部】工場見学でのQA、“困りごと”コンサル ファインネクス株式会社 経営企画部長 宮森 誠氏	
12月19日(木)	第3回IoT活用セミナー	オンラインセミナー「ChatGPT 活用の実際」 【一部】Microsoft365Copilot ダイワボウ情報システム株式会社 戦略ビジネス推進部 クラウドサービス推進グループ 天野智貴氏 【第二部】法人向け ChatGPT サービス / xHaiCSchat ハイ クラスチャット 北陸コンピュータ・サービス株式会社 システム本部部長 宮田洋成氏	23社 23名 (非会員含む)
3月11日(火)	第4回IoT活用セミナー	DX,IoTの現在そして明日へ 【第一回】 中小企業のデジタル化 スマート化事例紹介 スコーパLab 代表 古賀康隆氏	7社 11名
3月18日(火)	第4回IoT活用セミナー	DX,IoTの現在そして明日へ 【第二回】 IE入門からデジタル改善へ スコーパLab 代表 古賀康隆氏	8社 11名

C. 2024年度運営委員会開催

開催日 2024年4月23日(火)

2024年8月28日(水)

(7) 委員等への就任

当研究所の役職員は国の機関や富山県はじめ県内各自治体などからの要請により、合計20の委員会などに委員を委嘱され、合計32回の会議に出席し、地域発展に向けての意見・提言を行いました。

5. 広報ほか

(1) 月刊誌「北陸経済研究」

月刊誌「北陸経済研究」は毎月4,300部を定期的に刊行しており、2025年2月25日に発行しました3・4月合併号で531号となります。

なお、2021年3月より月刊誌のデジタル発行を開始し、会員の皆様にはホームページ上から月刊誌過去2年分の全ページをご覧いただけるようになりました。

(2) 年刊「北陸三県会社要覧」

2025年版は2,113社(前年2,129社)を収録し1月に3,100部を発行いたしました。掲載用原稿入力にあたっては、入力企業の利便性に配慮したWebシステムの利用が1,192社(56.4%)(前年1,126社(52.9%))となりました。昨年に引き続きデジタルブックを作成し、賛助会員を対象にホームページ上から閲覧可能としています。

(3) デジタル戦略

ホームページを充実させるとともに、デジタル媒体による情報提供とサービス向上に努めました。

- ・ デジタルブックによる月刊誌発行（過去 2 年分閲覧可）
- ・ YouTube 公式動画チャンネルにて動画配信（解説動画等 153 本以上 3 月末）
- ・ 紙面に QR コードを掲載し、文字と動画のハイブリッドで解説
- ・ メールマガジンの配信（景気ウォッチャー調査、月刊誌発行案内、セミナー募集など）
- ・ ホームページに月刊誌記事の一部や概要・解説動画を無料公開

(4) マスコミへの対応

- ・ 月刊誌「北陸経済研究」を発行の都度、地元紙をはじめ各新聞記者との懇談会を催し、調査担当者がテーマに応じて研究結果を発表いたしました。
- ・ それらの調査研究に関する内容を中心に、当研究所に関する記事が 55 回掲載されました。
- ・ マスコミからの取材・質問には 43 回対応し、それらの内容は、テレビニュースや新聞などで報道され、また業界誌などにも掲載されています。ちなみに、日経テレコンの検索結果にみる当研究所の報道件数は 88 件となっています。

テレビへの出演依頼については 13 回対応いたしました。マスコミの取材・出演で主なものは以下のとおりです。

5月	北陸中日新聞	北陸の上場企業の決算
6月	北日本新聞	新紙幣による経済効果
7月	チューリップテレビ	最低賃金引き上げの影響
	北日本放送	岸田総理 国立公園関連発言
	毎日新聞	福井県イオンSC出店
8月	北日本放送	株価暴落
	北國新聞	能登地震関連 ツーリズム
9月	富山テレビ	北陸新幹線敦賀延伸半年
	福井新聞	北陸新幹線敦賀延伸半年
10月	北日本新聞	銅価格の高騰理由、今後の見通し
	北陸中日新聞	アベノミクスの成果/問題について
	北陸中日新聞	回転ずし店の進出・リニューアル
	NHK金沢	北陸における観光の市場規模
	北陸中日新聞	北陸全体のインバウンドなど選挙と絡めて

11月	北陸中日新聞	トランプ政権と北陸経済
	富山テレビ	アメリカ大統領選挙と北陸に与える影響
	北日本新聞	トランプ政権と北陸経済
	北陸中日新聞	北陸の経済情勢
	北日本放送	トランプ氏再選による経済への影響
	富山テレビ	富山県の人口について
	北日本新聞	富山県の男性の育児休業取得状況
12月	北陸中日新聞	オーバーツーリズム
	富山新聞	オーバーツーリズム
1月	読売新聞	スペシャリティコーヒーブーム
	富山テレビ	トランプ政権の県内経済への影響
	チューリップテレビ	トランプ政権の県内経済への影響
	北日本新聞	日銀の政策金利引き上げによる県内経済への影響
	北陸中日新聞	富山-関空便就航について（マーケット、課題など）
2月	富山テレビ	富山県の賃上げ状況、今後の課題
	北日本新聞	トランプ関税 25%の県内への影響
	北日本新聞	トナミ運輸買収の件
	北陸中日新聞	北陸新幹線延伸 1年の状況
	北日本放送	トナミ運輸買収の件
3月	チューリップテレビ	北陸新幹線延伸 1年の状況
	富山テレビ	トランプ関税の県内産業に対する影響
	時事通信社	北陸新幹線延伸 1年の状況
	北日本新聞	NY タイムズ「2025年に行くべき52カ所」に選出
	北陸中日新聞	トランプ関税による影響（福井県を中心に）
	北日本放送	北陸新幹線開業後の企業進出・変化
	物流ニッポン新聞	全国トラック事業者大会の新潟開催について
	読売新聞	富山市の中心市街地活性化（富山市長選に関連して）

(5) 図書

当研究所の所蔵図書数は27,293冊となっています。研究所での利用のみならず、賛助会員などの方の利用にも供されております。

また北陸銀行所蔵の企業年史を当研究所に移管し、既存の年史と合わせ計702冊のリストを北陸銀行本支店に公開し利用に供する体制も整えました。

以上

2024 年度事業報告附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成いたしません。